

都市再生整備計画 事後評価シート

桑名地区

平成28年3月

三重県桑名市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	三重県		市町村名	桑名市		地区名	桑名地区			面積	900ha	
交付期間	平成23年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	2,537	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	(都)江場安永線道路整備、地域生活基盤施設(地域防災施設)((仮称)城南地区水防センター整備事業)、桑名駅西土地区画整理事業								
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(消火栓改良事業、密集市街地防災まちづくり支援)事業活用調査(桑名地区まちづくり検討事業)								
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(地域防災施設)(防火水槽設置事業)			設置場所について地域住民等との調整がつかず、他の設置場所も検討したが、地区内の設置場所がないため事業を断念した			指標1「自主防災組織の結成率」、H24年度に追加した指標2「自然災害に対する防災体制の市民満足度」に関連するが、数値目標は据え置く		
			提案事業	-			-			-		
交付期間の変更		当初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-					
		変更	-		-		-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	自主防災組織の結成率	%	58	H21	65	H27	59	65	○	あり ● なし	平成28年10月
	指標2	避難所への避難時間(徒歩)	分	40	H21	9	H27	-	8	○	あり なし	-
	指標3	災害対策本部へのアクセス時間(自動車)	分	10	H21	8	H27	-	8	○	あり なし	-
	指標4	自然災害に対する防災体制の市民満足度	%	58.3	H24	80.0	H27	-	74.6	△	あり ● なし	平成28年10月
	指標5									あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況	自主防災組織の結成率が年々上昇するとともに、進んで自主防災訓練を実施する団体が増えており、最近では訓練項目にタウンウォッチングや地震自動解錠ボックスの周知を取り入れるなど、防災意識の高揚が見られる。また、城南河川防災センターの整備に伴い、指定緊急避難場所及び指定避難所に指定したことから、周辺地域の避難時間の短縮が図られるとともに、平常時においては、地域住民のコミュニティーの場として活用が図られている。 [参考 市の実施事業]:「城南河川防災ステーション・桑名市城南河川防災センター」完成式(平成26年7月27日)、「桑名市総合防災訓練」(平成26年9月21日)、「伊勢湾台風のつどい」(平成27年9月26日、城南河川防災センター)、「地域の防災・減災を考えるパネル展」(平成27年6月2日～14日、六華苑)など											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	中間年次となる平成24年度に、成果の評価、実施過程の評価、効果発現要因の整理等に関する中間評価を実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 中間評価により目標達成状況が確認でき、事業進捗管理に役立つため、次期計画においてもモニタリングを実施していく				
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり体制の構築	提案事業として「桑名地区まちづくり検討事業」を実施。その中で庁内関係課による「桑名地区まちづくり推進会議」を設置し、計画にもとづく事業を確実に実施するための体制を構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 庁内の横断的な組織の構築により、情報共有、事業進捗状況の確認、中間評価等ができるため、次期計画においても推進体制の構築を検討する				

様式2-2 地区の概要

桑名地区(三重県桑名市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
安全・安心を備えた快適な暮らしを育む ■地震災害時における火災対策と自主防災意識の向上を図る ■高潮・水害時における氾濫浸水区域の防災安全性の向上を図る ■災害時において迅速かつ確実な避難等を可能とする道路を確保する	自主防災組織の結成率	単位:%	58 H21	65 H27	65 H27
	避難所への避難時間(徒歩)	単位:分	40 H21	9 H27	8 H27
	災害対策本部へのアクセス時間(自動車)	単位:分	10 H21	8 H27	8 H27
	自然災害に対する防災体制の市民満足度	単位:%	58 H24	80 H27	74.6 H27



桑名駅西土地区画整理事業



(都)江場安永線(国道23号取付部)



指定避難施設改良事業



城南地区河川防災ステーション・桑名市城南河川防災センター

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・「城南地区河川防災ステーション(国交省)・桑名市河川防災センター(桑名市)」の整備により、避難場所や防災拠点の不足といった周辺地域の課題が改善された。 ・(都)江場安永線の整備により、小貝須東部地区からの避難経路のルート選択肢が増え、災害対策本部(桑名市役所)までの最短経路が確保された。 ・桑名駅西土地区画整理事業により、駅周辺の災害に強いまちづくり(基盤整備)が促進した。 ・指定避難施設改良事業により、避難所への迅速な避難や安全性の確保といった課題が改善された。 ・防災施設を活用した防災訓練の実施など、持続的に地域の防災意識の向上を図ることが今後の課題である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災活動、避難行動を支援する施設整備等を推進したので、今後は、地域住民の防災意識向上を支援するソフト対策を強化していく。 ・本事業の計画当初(東日本大震災前)に想定されていなかった津波の被害を考慮した対策を進めていく。 ・桑名駅西土地区画整理事業の継続により、駅周辺の災害に強いまちづくり、高齢社会に対応するバリアフリー化、都市機能集約等を推進する。